

2025年度 第3回 運営推進会議 議事録

- 1 日 時 令和7年9月29日(月) 15:00～16:00
- 2 場 所 地域密着型小規模特別養護老人ホームはぎの郷 地域交流スペース
- 3 出席者(敬称略)
利用者: ○井○子
利用者家族: ○橋○美
地域代表: ○戸○夫(民生委員)
地域包括支援センター: ○垣○い○
事業所: 宮武昭彦(施設長) 藤原麗子(介護支援専門員)
渋谷涼子(介護職員)
欠席者: ○田○高(自治会長) ○本○一(特別養護老人ホームうおずみ施設長)
(市職員)

4 会次第内容

(1) 開会の挨拶、施設長挨拶

2025年度の第3回のはぎの郷の運営推進会議を始めさせていただきます。

(参加された利用者様、ご家族に運営推進会議の説明を行う)

まず出席者の方の自己紹介から始めさせていただきます。

(2) 出席者の自己紹介

出席者より自己紹介いただき会次第に入る。

(3) 「はぎの郷」の現状報告(介護支援専門員)

現状報告(令和7年8月31日現在)を用いながら入居者の状況及び事業所が取り組んでいるサービス内容を報告する。

5 質疑応答・意見交換

(施設長): 先週、つつじ野保育園の、交流会ということで5歳の園児たちが来てくれています、歌や踊りを披露してくれました。利用者の方ほぼ全員の方が1階まで下りてこられて子供たちと会話するなどのふれあいの機会も設けさせていただきました、おじいちゃん、おばあちゃん長生きしてね。という歌を歌ってくれて利用者様も職員も何人か涙を流しながら歌を聞いて感動されていました。

○井様、思い出されましたか?

ご意見: (利用者様)

はい。思い出しました。可愛かったです。

(施設長): 可愛かったですよね。次はまたクリスマスに交流させていただけるように

計画しております。

後は、資料にヒヤリハット、事故を記入していますのでご質問等ありましたらご意見いただきたいと思います。当施設ではヒヤリハットを毎月一人1枚は必ず出すように伝えています。些細な事でもヒヤリハットは出させています。

ヒヤリハットを出すことで、その職員のレベルを把握すること、小さなヒヤリハットを見つける練習という事で、書いていただいています。

ご意見：(民生委員)

いくつか有りまして、今回利用者様がヒヤリや事故を起こしておられるのですが、介助している時に7件くらい発生しているようなのですが、介助している時にヒヤリハットというのが、普段のヒヤリハットとは違うと思いますので注意が必要なのではないかという事と、それから薬の服用に関して2件ほどホッチキスの針が入ってしまったとか、これも重大なヒヤリかなと思いますのでこの2点を注意いただけたなと思います。

ベッドと椅子の間に落ちておられるなど、これも8件ほどあったようですが車椅子をほとんどの方が利用されていると思うのですが、ベッドから車椅子車椅子からベッドへの移乗を、介助無しでされているのかは分からないのですが、介助が必要な方であるなら部屋に戻った時に介助をされているかという事と車椅子は何処に置かれているのでしょうか？ベッドの側に置いておられているのか、離して置かれているのか、ベッドから足を投げ出されているとか、こういった状況で起きているのかなと思ひまして。

もう一つは、満床で29名の方がご利用になられている訳ですが、利用者様を延べで言いますと、19名の方がヒヤリハットになっている。他の10名の方がヒヤリハットになっていませんが、まんべんなくヒヤリなどが起こるのかなと思っていたら、結構、偏っているのでヒヤリハットになっていない方の状況は、寝たきりなのか違いがどこにあるのかなと思ひまして。階によってもバラツキがありまして、多い階と少ない階と。5回以上ヒヤリハットが起きている方とかね、何人かおられますね。5名程かな。どう言う時に起きて、どのように対策を取られているのかなと思ひまして。3階の方で、落ちて頭に切り傷が出来たようですが、切り傷ってどういう状態で起きたのかなと思ひまして。ベッドの側にそんな切れるような物が置いてあるのかと思ひまして。

(介護支援専門員)：

そうですね。まずベッドから車椅子の移乗で、転倒、転落の事故、ヒヤリが起きていますが、その方々によって車椅子を置かせていただいている位置というのは違ってまして、自身で乗れる能力のある方は、臥床されている時などは側に乗りやすい角度で、介護職員が置かせていただいたりしてるのですが、コールを押されずに移乗しようとされる方が多くて、ヒヤリや事故として挙がっ

てきています。お部屋に戻っていただいた時も、職員が臥床されるか、まだ起きておられるか、TV をご覧になられますか？と職員が確認させていただいていますが「寝ない。」と仰るので、では横になりたい時はお声掛けして下さいねとお伝えした上で、側を離れるのですがその後ご自身で移ろうとされて、すり落ちされたりするヒヤリや事故に繋がっています。

ご意見：(民生委員)

ヒヤリで済めば良いですけどね。落ちたりするとね、これからいくつか事故が出てきてしまうのかなと。

(介護支援専門員)：

そうですね。仰る通り、7月8月は同じ方が何度も同じ事故やヒヤリを起こされている状況で、精神面でも落ち着かない状態が続いておられた方がヒヤリや事故を起こされています。

ご意見：(民生委員)

今回は、偏っていますね。ですから注意して見ておられたのだと思いますが活動的な方なののでしょうか？

(介護支援専門員)：

そうですね、2階の方のH様は普段あまり動かせない方なのですが、突発的に自分で全て出来ていた頃の自分に戻られて動こうとされる事があるので、ヒヤリとして挙がってきています。それ以外の方も、足の力が低下してきておられるのですが、一人で動こうとされたりベッド上でかなり激しい体動があられたりしてヒヤリに何度も挙がってきたりしています。

ご意見：(民生委員)

ここの施設の方針として、自由に動いていただくという事なのでね、ヒヤリハットで収まっている状態であれば良いですけどね。難しい所ですね。

(施設長)：そうですね。切り傷が出来た方は、1回目は縫うなどの怪我は無かったのですが2回目が9針縫う怪我をされました。個室で夜一人で動かれるので転倒を防ごうと思えば拘束するしかないのですが、うちは絶対に身体拘束させないので9針縫ってもまた次に縫う可能性はある事を家族様とお話しています。そこは法律上、制限できないので見守りは強化するのですが24時間付きっきりが出来ないので9針がさらに縫うことにならないか、冷や冷やしたのですが無事に抜糸まで出来ました。

ご意見：(民生委員)

部屋にカメラを設置されて、見守りも大分強化されていると思いますし。

9針縫っていた所は、金属に当たったのですか？

(介護支援専門員)：

画像で確認させていただきましたが、転倒されていた時にベランダ側の窓際と

ベッドの天板との、少しのスペースで落ちておられたのですが、落ちる際に窓のカギが付いているサッシの角にぶつけながら落ちておられるので、スパッと切れてしまったのが分かりました。何故そのような位置に行かれたのかは本人にお聞きしましたが不明です。その狭いスペースにあるコンセントを抜いておられたので、抜こうとしてバランスを崩されながら落ちてしまったのかなと思います。

ご意見：(民生委員)

僕らでも年を取ってしまうと、バランス悪く斜めになってしまう事がよくあって。幸い大きなことにならなくて良かったです。

(介護支援専門員)：

利用者様29名の中で、ヒヤリなど名前が挙がっていない10名様いらっしゃる方に関しては、寝たきりの方であったり、動かれる方ですが用心して動かれている方もいらっしゃるの、なかなかヒヤリなどには名前が挙がらない方もいらっしゃる感じです。本日参加して下さっている〇井様などは、危ないなど思ったら必ず職員を呼んでくださる方もいらっしゃるの。

ご意見：(民生委員)

利用者様の方にも、そのような事がないと難しいのでしょうね。

(施設長)：比較的、女性の方が職員を呼んでくれるのですが、男性の方はどうしても自分で行こうとされてしまうので、今回もほとんどが男性の方で、男性ならではのですね。統計も取ると男性の方が一人で何かしようと言われてしまう。女性の方は呼んでくださるという事があるようです。

ご意見：(利用者様)

私が、呼びすぎです。

(施設長)：そんなことはないですよ。毎朝、ご挨拶させていただいて何よりです。

ご意見：(利用者様)

有難うございます。

(施設長)：転倒などの事故に関しては、永遠のテーマですね。今回9針縫われた方が、また縫われた所をぶつけられたらどうなるかなと、冷や冷やししながら職員に転倒していないか、怪我していないか聞くのですが、職員も拘束することは出来ないの、無事に抜糸出来て良かったと思っています。今までも、ベッド下に、マットを敷いて転倒しても怪我を防げるようにはしていたのですが。

ご意見：(民生委員)

子供のいるところなどは、角にラバーを貼りつけたりしてね。そこまでしないといけないのは分からないですけどね。

(施設長)：マットも、この方が歩けないと言うことを前提で、転倒予防で敷いているの

ですが、よれよれでも歩けるならマットも身体拘束になってしまいます。こかせてしまう事になるので。本当に国は矛盾している。怪我はさせないようにでもそのような対応はしないようにと。介護職員は板挟みになってしまうと言う所ですけど。拘束されて怪我の少ない施設もあると思うのですけれど、でも怪我されても、いつも私の顔を見ると「おう。」と言ってくれるので、人間の尊厳を考えると自由は大事なのかなと思います。

ご意見：(民生委員)

それに、ヒヤリハットを挙げて全職員に情報を共有してね、注意するというのはねヒヤリに対する誠意かなと思いますね。

(施設長)：そうですね。情報を共有し続けると言うことは永遠のテーマだと思います。

ご意見：(民生委員)

7月8月が本当に偏っていましたからね。

(施設長)：よく見ていただいて有難うございます。7月8月というのは入院の数にしてもどの施設も多かったと思います。去年より。職員自身も精神面であったり身体面で、この猛暑で大分体力を消耗したみたいです。当施設だけでなく全国的にそうであったのではないかと思います。元気に乗り越えられた方たちは本当に良かったと思います。

包括の方は何かありますか？

ご意見：(地域包括支援センター)

お薬のヒヤリが少ないなと思ひまして、お薬のチェックをどうされているか教えていただきたいです。

(施設長)：まず薬局で1回目のセットしていただいて、こちらに届き医務の方でチェックが入ります。セットした段階で2次チェックが入ります。今度介護の夜勤職員が3次チェックを行って、配薬に入るというふうに改善しました。去年薬の事故が多かったのも、ただ次の運営推進会議の資料に載るのですが、今回入居されたばかりの方が、2か所の病院から薬が出ていたのですが、その薬が重複していることに私たちが気づけなくて、本来なら一つの薬局が処方するので色々な病院から来ても薬局が整理してくれるのですが、家族様が薬局でお薬をもらってきて下さったのと、嘱託医が処方した薬をセットする時に重複しているなど見抜かないといけなかったのですが、2か月弱お薬が重複していた事に気が付かなくて。それはこちらのミスですね。病院の方と調整してもらって医師に連絡して確認したところ、健康状態に今、問題がないのであれば問題ないでしょう。すぐに薬を1本化して貰ったら良いですよと主治医より意見をいただきまして診察した結果も、血液検査も問題なかったと言うことで、家族様からも今後気を付けて下さいねと終わったのですけれど、そのような大きな事故がありました。次回の運営推進会議でも報告させていただきます。

ご意見：(民生委員)

大問題になるところだったと言うことですね。

(施設長)：そうですね。大問題です。1錠でよいものを2錠飲んでいたので。

薬に関してはそのような状態です。

ご意見：(地域包括支援センター)

はい。分かりました。有難うございます。

ご意見：(民生委員)

薬が施設に来て3回チェックをしていると言うことですね。前はもっと回数が少なかったのですね。

(施設長)：それでも最後は人が、名前と日付けと確認してから飲んでいただくことになっているのですが、便を出す薬、下剤関係ですと便がたくさん出る、汚してしまうことが分かっている方もいるので、認知症状も少ない方などは薬を飲んで職員が確認した後に吐き出す方もいるので、落薬もあったりベッドのわきに薬が隠れていたりすることもあるので、職員がしっかり飲み込みまで最後まで確認するのも永遠のテーマではあるのですけれど。

ご意見：(民生委員)

僕も最近体調が悪く、1日4種類ほど薬を飲んでいるのですが、3回飲む分4回飲む分と小分けして飲んでいるのですが、飲み忘れがあったりして薬を飲むこと、飲ませることは大変ですね。

(施設長)：お薬は命に係わるものなので、施設も重要視している業務ではあります。

ご意見：(民生委員)

確かに減りましたね。

(施設長)：去年、おとしやオープンの時に比べたらですね。どんどん減ってはいますね。

家族様はどうですか何か、ご希望などはありますか？入居してみて、これがあつたらなど。

ご意見：(利用者家族)

何か、良くしていただいて楽しそうにしているので有難うございます。

今、特にないです。楽しそうなのですごく嬉しいです。

(施設長)：○井様が明るい性格ですからね。社交的でいつも挨拶してくださるので。

○井様、何かご飯が美味しい、美味しくないなど無いですか？

ご意見：(利用者)

美味しいです。この体型なので全部食べれずに残してしまう事もありますので申し訳ないのですけれど、いつも美味しくいただいています。有難うございます。

(施設長)：残してもらったら良いですよ。他に困った事は無いですか？

ご意見：(利用者)

自分がちゃっちゃと動けないので困っています。トイレに行くときに手伝ってもらわないといけないのが申し訳ないですが我慢できないので。

トイレが一番多い人なので。他に言うことはないです。よろしくお願いします。

(施設長)：それは呼んで下さいね。お仕事なんでね。何か希望とかこれから困った事があれば私やケアマネや3階副主任に言って下さいね。

言っていただきましたら出来るだけ叶えられるように努力しますので。よろしくお願いします。

ご意見：(民生委員)

この前、23日の神戸新聞に載っていた介護の現場という記事で医療ロボットをやっている所なんですけど介護をされている方の負担を軽くする、日本ノーリフト協会と共同でされている話が載ってまして社長の方がロボットの会社出身の方で関心があって、介護の方の力仕事でこのようなリフトがあるとか、少ない人手で介護が出来るとか書いてありますので、ご参考までにご覧になってください。(と記事のコピーを下さった)

(施設長)：有難うございます。

これからは介護ロボットの導入。うちも1台導入しているのですがカメラをつけたり、職員の負担を減らしながら安全に見守り出来るようにICT化課題になっております。

ご意見：(民生委員)

介護とロボットというのは、人の手でやると言いながらどこまでやれるのかなと思ったりしますが、負担を軽くするというのはね。腰痛の人が多いとかよく聞きますので。

(施設長)：有難うございます。

それでは2025年度3回目の運営推進会議を終わらせていただきたいと思います。

今日はお忙しい中、お時間いただきまして有難うございました。

(介護支援専門員)：

次回は11月開催ですが、毎回最終月曜日に開催していますが、11月は1週早い月曜日に開催させていただきます。

(施設長)：最終月曜日が祝日なので、11月17日の開催となりますのでよろしくお願いします。

今後ともご協力とご支援をよろしくお願い致します。

ありがとうございました。

(一同)：ありがとうございました。

以上

次回は令和 7 年 11 月 17 日開催予定